

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年11月28日

計画の名称	山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化計画												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	鳥取県												
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の三府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の"山陰海岸ジオパーク"圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで地域活性化を図る活動が行われている。 特に、観光の面においては、山陰海岸地域特有の地質、地形(ジオ)がもたらした、「北前船寄港地」や「棚田」、「温泉」等の多様な文化、産業を実際に五感で体感できるような観光資源として活用し、持続可能な地域社会を目指した観光が行われている。 これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	910	A	910	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1	R7	R9
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】観光入込客数1,967万人(R1)から2,065万人(R9に増加)(98万人(5%)の増加) 山陰海岸ジオパークエリア(鳥取県東部地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域)の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - R1年間観光入込客数) / (R1年間観光入込客数)	1967万人	2026万人	2065万人
2	【鳥取県 単独目標】観光入込客数418万人(R1)から439万人(R9)に増加(21万人(5%)の増加) 鳥取県東部(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - R1年間観光入込客数) / (R1年間観光入込客数)	418万人	431万人	439万人
3	【鳥取県 単独目標】各拠点施設間の総アクセス時間を、187時間・台・日(R9)短縮 道路整備に伴う拠点施設間のアクセス短縮時間に各地点の交通量に乗ることにより、1日の総短縮時間を算定。 [要素事業による短縮時間 × 当該地点交通量] A11-001とA11-002が対象	0時間・台/日	165時間・台/日	187時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(一)岩美停車場河崎線 新井2工区	バイパス L=0.3km	岩美町						140	-	
	H29.4.1以前の事業化のため、費用便益費算出対象外																		
	A11-002	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(一)網代港岩美停車場 線 田後工区	バイパス L=0.4km	岩美町						600	-	
	H29.4.1以前の事業化のため、費用便益費算出対象外																		
	A11-003	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	修繕	(一)網代港岩美停車場 線 網代5工区	暗渠等修繕 L=0.01km	岩美町						60	-	
	修繕工事であるため、費用便益費算出対象外																		
	A11-004	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	国道	修繕	(国)178号 浦富外工区	舗装修繕 L=1.7km	岩美町						60	-	
	修繕工事であるため、費用便益費算出対象外																		
	A11-005	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	修繕	(一)湯山鳥取線 浜坂 工区	防護柵等修繕 L=0.8km	鳥取市						40	-	
	修繕工事であるため、費用便益費算出対象外																		
	A11-006	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	修繕	(一)福部岩美線 細川 工区	側溝等修繕 N=4箇所	鳥取市						10	-	
	修繕工事であるため、費用便益費算出対象外																		
											小計						910		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						910		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	103				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	103				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	103				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					